



大塚台の風

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

横須賀市立大塚台小学校 学校だより266号

R8.1.23

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本校の教育活動に対してあたたかなご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。今年もご支援、ご協力よろしく願いいたします。

令和2年1月16日。この日は、国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認された日です。約45日後の3月3日からは、感染拡大防止のため臨時休校となりました。そして、この年の卒業式は、例年と異なり卒業生と教職員のみだけで行わなければいけません。また、令和2年度に入学した新入生は、4月6日に入学式に参列しただけで、その翌日から約2カ月間の臨時休校や外出自粛という中での学校生活のスタートでした。この時に入学した新入生が、この春に卒業を迎えます。学校行事の中止や縮小、3密の回避といった行動制限など多くの我慢があったことと思います。残りわずかな小学校生活をできる限り充実したものにするために、「卒業を祝う会」など卒業に向けて様々な教育活動を行っていきます。そして、卒業式当日は、卒業生にとってかけがえのない一日となるよう、教職員一同努めてまいります。

本年が皆様にとりまして実り多い幸せな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



授業力向上を目指した取り組み

今から数十年前、高校生だった時の物理の授業の思い出を一言で表すと、「苦」という言葉しか思いつきません。先生は一所懸命に教えてくださっているのは伝わってくるのですが、意味が全く分からず言葉が宙を舞っているような感じでした。「この問題をやってみて」と言われても、どこからどのように手を付けてよいのか分からず、ひたすら我慢の時間が続きました。

学校は、休み時間や給食など様々な活動がありますが、約70%は授業時間です。子供たちにとって1日5~6コマの授業が我慢の時間の連続だったとしたら、学校は苦しい場所ではないでしょう。学習のスタートでは「やってみよう」「どうしてだろう」「次はこうしてみよう」など主体的に学習に取り組むことができるよう、そして、学習後には「分かった」「こうすればいいんだ」などと学習による自分の成長を感じることができるよう、教員は単元構成を考えたり、教材を用意したりといった準備をして授業に臨みます。この授業において、子供たちが学習のねらいを実現している姿まで高めることができるよう、本年度、大塚台小学校では「気づく!感じる!伝える! ~『つなぐ』授業の創造~」をテーマとして、慶應義塾大学の藤本教授や教育委員会の指導主事からご助言をいただきながら授業力向上を目指した研究を行っています。研究授業や小中一貫教育への取組、そして何よりも毎日の授業の中で、子どもの「気づき」や「感じたこと」を大切に、それを周りと伝え合いながら学びを深めていくこと、そして、学習内容と子ども自身の経験や考え、既習の知識、友達の考え、日常生活などをつなげることで学びの理解や興味が深まることを大切にして研究を進めてきました。

<研究を通じて得られた成果>

○子どもの学びへの意欲と深まり

- ・低学年では、虫を自分で見つけ名前をつけて呼び合うことで対象に愛着が生まれ、観察への意欲が高まった。こうした興味・関心から、じっくりと学習対象に働きかける力がついてきた。
- ・教師の問いかけや友達とのやりとりを通して、「なぜそうなるのだろうか?」という疑問をもち、問題を自分ごととして捉える力が育っている。

○教師の指導力向上と柔軟な授業運営

- ・子どもの考えをていねいに見取りながら、授業のねらいの実現に向けた指導を充実させることができた。
- ・子どもたちの考えや気づきを価値づけ、クラス全体で共有する手立てを工夫することができた。
- ・教員同士で授業検討や研究協議を重ね、指導方法や授業の質を高めることができた。

○学校全体の協働による学習環境の充実

- ・学年や学級を越えて子どもたちの様子を共有し、安心して自分の思いを表現できる環境づくりを進めることができた。
- ・教職員が共通の方針を持ち、多様な視点で子どもに寄り添うことで、一人ひとりのニーズに応じた支援が可能になった。

<今後の課題と取り組み>

○授業のねらいにつながる気づきを効果的に取り上げること

- ・教員の授業検討会を活発にし、子どもの意見や気づきを共有するとともに、振り返りの時間やノート、掲示物で子どもの考えを見える化し、授業づくりに生かしていく。

○「つなぐ」授業のより一層の充実を図ること

- ・学習を深めるために、子ども同士の意見のつながり、教科同士のつながり、既習事項とのつながり、学習と生活のつながりを大切にした授業づくりを進めていく。

これからも、授業力向上に向けて努力を重ね、子どもたちが安心して自ら学び成長できる学校づくりを進めてまいります。